

IT'S POWER

中堅中小企業向け

実践 IT ソリューション マガジン

WEB でも探せる、あなたに必要なソリューション！

イツツパワー

検索



特集

IT で企業の力を UP する 業務改革講座

ソフトウェア アシュアランスなら
ここまでできる!
ソフトウェアを賢く使いこなす
インフラ力と生産性向上計画

サーバー管理の効率化で
コスト削減と可用性向上を目指せ

事業リスクの低減とセキュリティ強化を
実現するメッセージング インフラ

Microsoft®

巻頭インタビュー

業務効率化の第一歩は

ソフトウェアの利活用から

有限責任中間法人 MOT コミュニティ

会長 加藤竜哉 氏

私の IT 考 ~連載 第 6 回~

自身が取り組むことで初めて気付く
IT 化による仕事の蓄積と業務の効率化

税理士 行政書士 IT コーディネータ

MCSC(Microsoft Certified System Coordinator)

平川 昌彦 氏

無料

Winter 2009 vol.

6

Winter 2009

Vol.6



- 3 卷頭インタビュー
業務効率化の第一歩はソフトウェアの利活用から
有限責任中間法人 MOT コミュニティ
会長 加藤 竜哉 氏

ITで企業の力を UP する 業務改革講座

- 5 1時限目
**ソフトウェア アシュアランスならここまでできる!
ソフトウェアを賢く使いこなす
インフラ力と生産性向上計画**

- インフラ整備編 ソフトウェアのインフラ整備で、業務の柔軟性を高める
活用力向上編 ソフトウェアを活用し、社員の生産性を向上させる
コラム ライセンス販売の現場から～第5回～ お宝を眠らせていませんか?
メリット満載のソフトウェア アシュアランス特典

- 12 2時限目
サーバー管理の効率化でコスト削減と可用性向上を目指せ

- Windows Server® 2008 Hyper-V™ と
Microsoft® System Center Virtual Machine Manager 2008 (以下、VMM 2008) で
サーバーのお悩み解決! その1
Hyper-V と VMM 2008 でサーバーのお悩み解決! その2
お客様導入事例 株式会社栗山米菴
Hyper-V によるサーバー仮想化で 20 台のサーバーを 5 台に集約

- 20 マイクロソフトが放つ、中堅中小企業向けサーバー ソリューション

- 21 3時限目
事業リスクの低減とセキュリティ強化を実現するメッセージング インフラ
これからのメッセージング インフラ ① スパム対策
これからのメッセージング インフラ ② ウイルス対策
これからのメッセージング インフラ ③ コンプライアンス対応
これからのメッセージング インフラ ④ 俊敏性向上
お客様導入事例 株式会社日本ロックサービス
10 年前、使いやすさで選んだ Exchange Server

- 28 私の IT 考

- 自身が取り組むことで初めて気付く
IT 化による仕事の蓄積と業務の効率化
平川昌彦税理士事務所 IT コーディネータ MCSC (Microsoft Certified System Coordinator)
税理士 行政書士 平川 昌彦 氏

- 30 教えてマイクロソフト

- 31 マイクロソフト探訪記

自身が取り組むことで初めて気付くIT化による仕事の蓄積と業務の効率化

中堅中小企業の経営者の中には、「ITは苦手」と最初からそっぽを向いてしまう人もいます。静岡県浜松市に税理士事務所を開く平川昌彦氏も、かつてはそんな1人でした。しかし、実際にITを使い始めてみると、ITによって仕事の結果が蓄積され、業務を効率化できるということが実感できたそうです。今はその経験からITコーディネータとして中堅中小企業のIT化を支援する活動に取り組んでいます。

ITを難しいと思う中小企業

私は、今の事務所を開設するまで、会計事務所に勤務していました。そこでは伝票を処理して、それを「パンチャー」と呼ばれる従業員に渡して処理することが当たり前。ITとは無縁の状態で仕事をしていました。事務所のIT化が進んでも、最後の最後まで抵抗するほどでした。とにかくITは難しいと考えていたのです。

今の中小企業の皆さんを見ていると、かつての私と同じではないかと思います。とにかく難しい、なんとなく嫌なわけです。ところが、あるきっかけがあれば、使えるようになります。そのきっかけをつかむ部分の敷居は高いのですが、使っていくうちに、業務がどんどん効率化できておもしろいし、結果が蓄積されていくので便利です。

中小企業の皆さんには、いろいろな仕事をオールマイティにこなしています。また、経営者、社長がビジネスの現場で

外を飛び回り、社内はパートの従業員が守っているという会社も少なくありません。そういう企業では、パートの従業員が辞めてしまうと非常に困るため、私の事務所にも、どうしようという相談が寄せられることがあります。こうしたことをきっかけに、ようやくIT化に動き出します。

とは言え、中小企業にITが導入されていないわけではありません。たとえば、コンピューターを利用してワープロを使っていることはよくあります。しかし、ワープロの延長線上で、業務を効率化するためにITを使うというところまではなかなかたどりつきません。中小企業のほとんどが、このようなレベルというのが現状です。

使ってわかったITの便利さ

私自身の経験を振り返ってみると、最初はワープロを使うときでさえ、紙に書いてそれを手本に文字を打つというレベ



平川昌彦税理士事務所
ITコーディネータ
MCSC (Microsoft Certified System Coordinator)
税理士 行政書士
平川 昌彦 氏

ルでした。自分で事務所を開設して、何もかも自分でやらなければならない状況になったときも、最初は仕方なく使っていました。しかし、覚えていくうちに、仕事に役に立って便利でおもしろいと次第に感じ始め、人に勧めるようになりました。ちょうどWindows 3.1が登場したころのことです。

私が最初に、これは便利だと感じたのは、ワープロでカットアンドペーストの機能を知ったときです。紙に書いた場合、文章を前後に入れ替えようとすると、ハサミで切り取ってノリで貼り付ける必要があります。コンピューターでは、ハサミもノリも使わずにそれができるわけです。また、作成した文書を保存しておけば、後で自分で編集できます。

もう1つは、やはり私の本業に関する会計における利便性です。会計は、消費税が導入された時点でのコンピューターなくしては無理になりました。驚いたのは、Excelです。Excelを使えば、ある程度の仕事が何でもできてしまます。データ化しておけば、後で加工することができるし、劣化することもあります。

せん。データを探し出す検索性にも優れています。

経営を熟知した IT コーディネータ

IT を難しいと思っていた私が IT コーディネータの資格取得へと進み始めたのは、インターネットが普及し始めたばかりの時期でした。私自身、税理士をやつていて、今後は IT を使って何かしなければならないのは間違いないという時代の流れもあり、それを税理士事務所の柱として差別化しようという思いがありました。

ちょうどそんなとき、当時の通産省が IT コーディネータ制度を作るということで興味を持ったのが始まりです。私たち税理士の顧客企業の多くは、IT コーディネータというと IT の専門家というイメージを持っています。ところが、IT コーディネータは、経営の専門家であって、IT と経営をいかにリンクさせるか、ということが仕事になります。IT コーディネータは、日本の国際競争力の低下に関して、IT 化を推進することで取り戻そうという趣旨で創設された資格です。これまで、IT を導入してもベンダーの都合で



経営に生かせなかったというユーザー企業とベンダーの間に立つ役割を担っています。私たちは、税理士あるいは公認会計士の立場から企業の経営者に対し、IT の必要性を説いていくことが使命だと思っています。

中小企業も サーバーで効率化

私が税理士事務所を開設したのは 1998 年のことですが、中小企業における IT 環境はこの 10 年で劇的に変わりました。もう IT を使わなければ、経営に支障をきたすと言えるほどです。ただし、IT を 100% のパフォーマンスで使い切っているかと言えば、そんなことはありません。前述したように、ワープロ用途やインターネットだけを利用しているに過ぎない企業はたくさんあります。

そうした企業で業務の IT 化を推進するとき、私はまず「繰り返しやってみましょう」とアドバイスしています。反復、継続することで、ノウハウが蓄積されていきます。中小企業の皆さんには、日々の仕事に忙殺されていることが多いので、わかっているけれどもできないという声もよく耳にします。そこは、私たちが教育することも大切だと思っています。

さらに、その先には蓄積されたノウハウやデータをどのように活用していくかという課題があります。そこで私が有効だと考えているのが、サーバーの活用です。MSITCにおいて、私はサーバーチームのリーダーを務めています。サーバーというと中小企業には関係ないと考える経営者もいますが、決してそんなことはありません。中小企業にもサーバーを導入し、社内ノウハウの蓄積場所として、情報の書庫、金庫として活用してほしいと考えています。ただし、情報を詰め込むだけで活用しないのでは、意味はありません。

最終的には、コミュニケーションとコラボレーションの機能を使って、ワークフローを確立していくことが理想です。中小企業には、社内の風通しが良いという強みがあります。ところが、風通しが良いばかりに、IT の情報をお互いに共有したり、共同作業したりといった意識が薄いように感じます。

これまで私たち税理士事務所は、中小企業に対して税務顧問という立場でかかわってきました。今後はそれだけでなく、IT 顧問という立場でのかかわりもありだと思います。また、経営と IT を結び付けたトータルのサービスを提供するようなビジネスも、今後は出てくる余地があると考えています。

<http://www.c-assist.net/>
~ 更なる企業発展と IT 経営支援を実践する会計事務所 ~